

## インプラント治療のご案内

For a Renaissance of Life

自然な笑顔で毎日をイキイキと

## 歯を失ってしまうと・・・

美味しく食べたり、楽しく話したりという当たり前のことが、  
歯を失ってしまうことでとても不自由になります。

また、「人前で思い切り笑えない」、「入れ歯であることを  
知られたくない」・・・など、コンプレックスを感じている  
方もたくさんいらっしゃるでしょう。



「食べる・話す・笑顔をつくる」  
みんな歯の役割です。



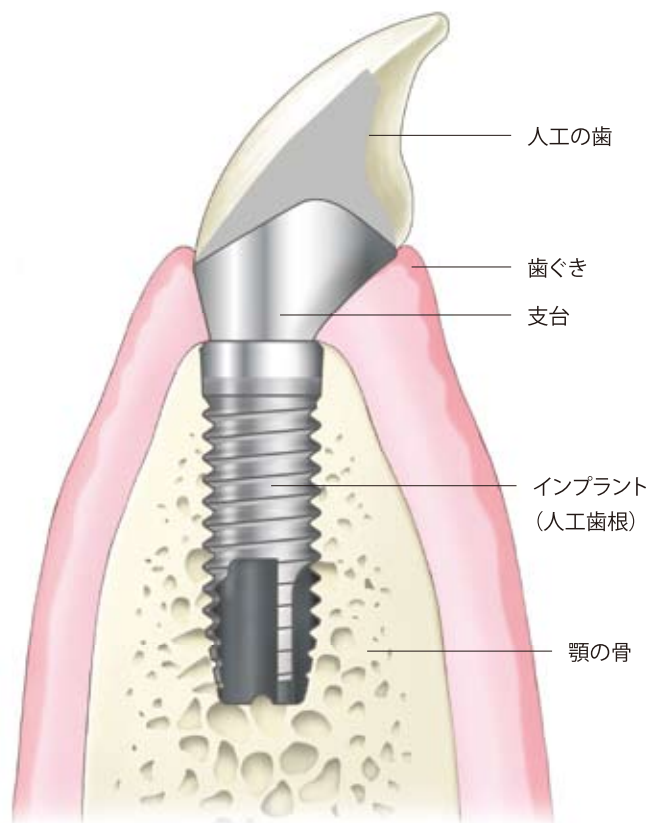
人間の歯は、乳歯から永久歯へ生えかわります。そして、永久歯が抜けてしまうともう二度と歯は生えてきません。むし歯や歯周病、または事故などで歯を失ってしまったときには、ブリッジや入れ歯による治療をおこなう場合があります。しかし、これらの治療法はあなたにとって最適な方法でしょうか。

- 失った歯の両隣の健康な歯を削ってブリッジを入れることに抵抗を感じる
- 入れ歯が合わなくて、うまく噛めなかったり痛かったりする
- できれば入れ歯は入れたくない

このように感じていらっしゃる方へ、インプラント治療をおすすめします。

### インプラント治療とは

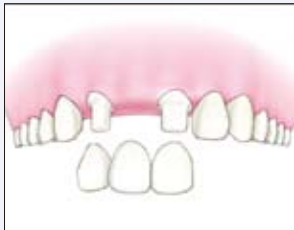
- 歯を失ったところに人工の歯根(インプラント)を埋め込み、その上に人工の歯を取り付ける治療法です。
- 埋め込む材料には、アレルギー反応が少ないといわれているチタンという金属が用いられます。
- 1本だけ歯を失った場合でも、全ての歯がない場合でも、一定の条件をクリアすればインプラント治療を受けることができます。



# インプラント治療と他の治療法との違い

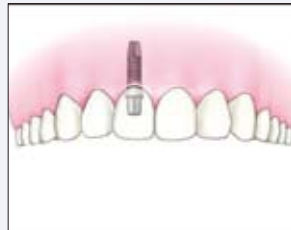
## ブリッジとの比較【例：歯を1本失った場合】

従来法：失った歯の両隣の歯を削ってブリッジにします。



- ・両隣の歯が健康な場合でも削らなければならない

インプラント治療ならば



両隣の健康な歯を削らずに固定された人工の歯を入れることができます。

## 部分入れ歯との比較【例：複数の歯を失った場合】

従来法：他の歯にバネをかけて部分入れ歯を固定します。



- ・失った部分以外の健康な歯にバネがかかるため違和感がある
- ・バネをかけた歯に負担がかかる
- ・バネが見えるため見た目が悪い

インプラント治療ならば



他の歯にバネをかけることなく固定された人工の歯を入れることができます。部分入れ歯に比べて違和感が少なく、見た目も良くなります。

## 総入れ歯との比較【例：すべての歯を失った場合】

従来法：歯肉との吸着力で入れ歯を支えます。

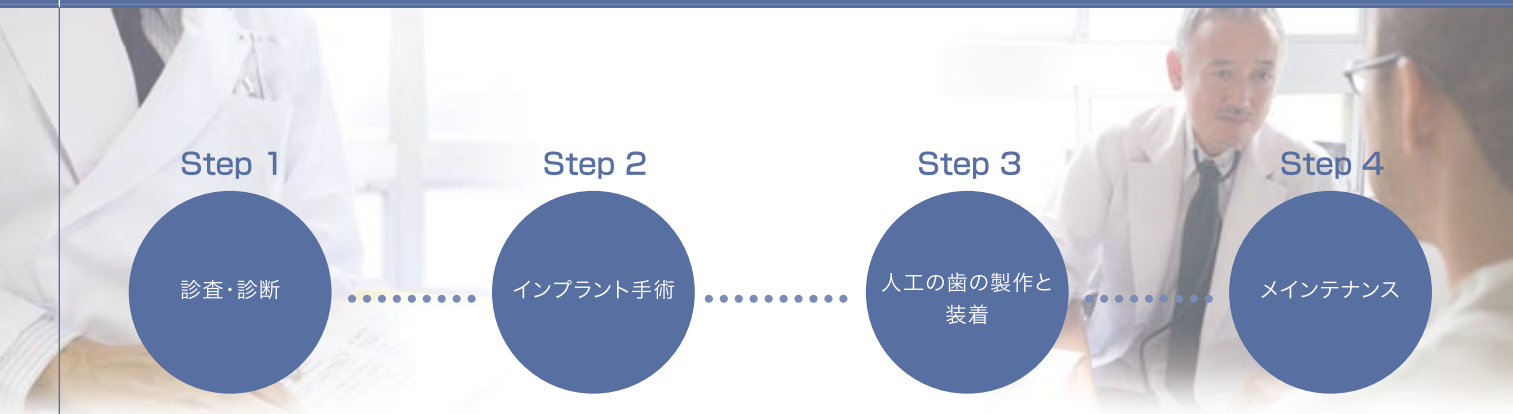


- ・硬いものが噛めない
- ・味覚が落ちたり、食べ物の温度が伝わりづらい
- ・不意に入れ歯がずれたり、外れたりする
- ・話しにくい
- ・顎がやせてしまうため老けて見える
- ・入れ歯というコンプレックス

インプラント治療ならば



固定されるため、がたつきがなく安定します。天然歯と同じように何でも食べることができ、いつでも美味しく食事を楽しむことができます。また、入れ歯のようにずれる心配がなく自然に話しをすることができます。



Step

### 1 診査・診断

インプラント治療をご希望の方に、インプラント治療が適しているかを診査します。

インプラント治療はすべての方におこなえるわけではありません。全身疾患や局所的な原因でインプラント治療ができない場合もありますので、歯科医院での正確な診査・診断が必要です。

Step

### 2 インプラント手術

骨にインプラント(人工歯根)を埋め込みます。

通常、局所麻酔でおこないますが、手術に対して強い恐怖心をお持ちの方には、鎮静下で手術をおこなうことも出来ます。手術後、骨とインプラントがしっかりと結合するまで少し期間をおきます。

Step

### 3 人工歯の製作と装着

骨とインプラントがしっかりと結合した後、型を採って、人工の歯を製作します。

よく噛めるか、話しやすいかなどの機能面はもちろんのこと、色や形などの見た目においても患者さんご自身が納得のいく人工の歯を製作し、出来あがったものをインプラントの支台に装着して完成です。

Step

### 4 メインテナンス

インプラントを長期間にわたって維持させるためには、日常の患者さんご自身によるブラッシングと歯科医院での定期検診の両方が重要です。

期間には個人差がありますが、半年から1年ごとの定期検診が必要となります。

### Q. 誰でもインプラント治療を受けられますか？

A. 年齢的には顎の骨が完成する20歳前後から健康な方であれば基本的にはどなたでも可能です。ただし、妊娠中の方や全身疾患のある方など制限される場合があります。

### Q. 手術には入院が必要ですか？

A. 限られた特別な場合を除いて入院の必要はありません。通院での治療が可能です。

### Q. 治療期間はどのくらいかかりますか？

A. 他の治療と比べると長い治療期間が必要になる場合が多いです。  
お口の中の状況や治療方針によって異なります。

### Q. インプラントは一生持ちますか？

A. インプラントの寿命は患者さんのお口の中の衛生状態に大きく関係します。  
インプラント自体は人工物のためむし歯になる心配はありませんが、歯周病になることがあります。歯周病になるとインプラントの周りの骨がやせてきてしまい、最終的にはインプラントが抜けてしまう可能性があります。インプラントを長持ちさせるためには、毎日のブラッシングと歯科医院での定期検診が必須となります。

### Q. 保険がききますか？

A. 保険は適応外のため自費となります。  
費用は埋入するインプラントの本数や人工歯の種類などによっても異なります。

インプラント(人工歯根)について詳しく  
お聞きになりたい方は、  
当院までお気軽にご相談ください。